Mitaka Picture Book House in the Astronomical Observatory Forest

三鷹市
星と森と絵本の家
Mitaka Picture Book House in the Astronomical Observatory Forest

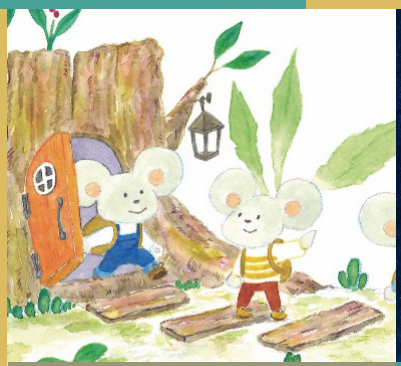
2025

回廊ギャラリー展示
絵本作品公募
受賞作品

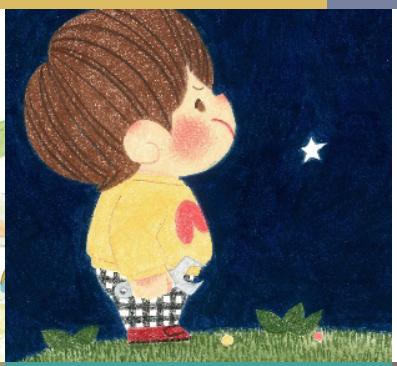
『星のかおりに
つつまれて』
セキユキナ

『ちびちゃいのおしゃべり
＜てんたい＞』
このはな れん

『よるのおふろ』
新谷 直子



『ほしあかり』
トラコ



『つきのねーねと
ちきゅうのぼく』
かくさん

『雀と飴玉の月』
伊藤 祥吾

最優秀賞

『星のかおりにつつまれて』

セキユキナ（神奈川県）

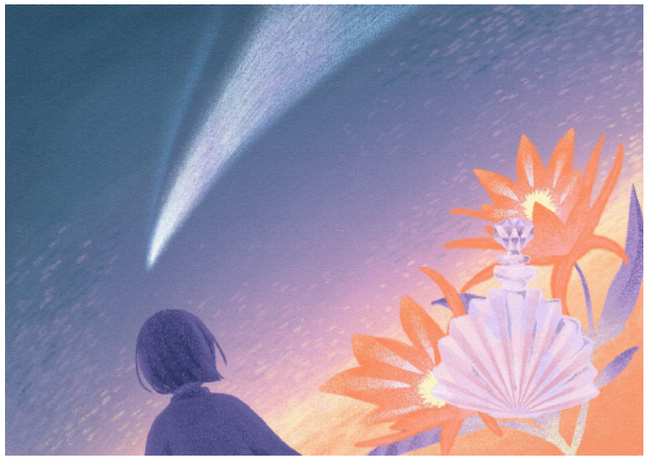
作品について

新しい町に引っこしてきたゆうかちゃんは、知らない場所での日常に不安な気持ちでいっぱいでした。ある日、ふしぎなアーチの向こうに星のようにきらめく花の庭と小さなお店を見つけます。そこで体験した星たちの香りと世界とは…。様々な天体の香りとともに、気持ちを明るく照らしてくれる星たちのおはなし。

作者紹介

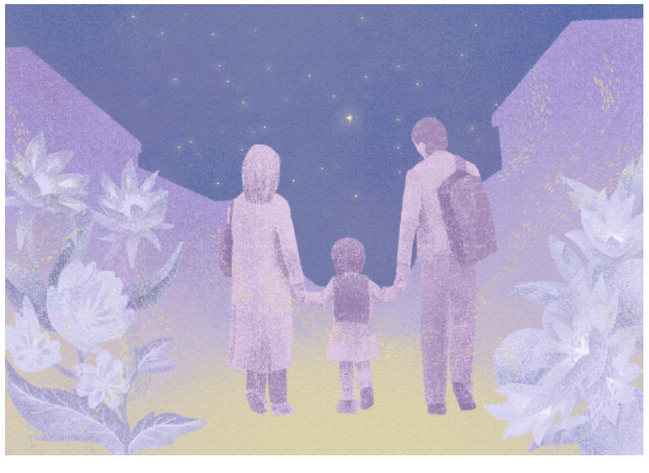
やさしいタッチと色合いで印象に残る世界観を目指しています。星や月、花や動物、自然のモチーフを主に描く。英国 University for the Creative Arts 卒。星空案内人。
企業に勤めながらイラストやアートグッズの創作活動をしています。

チリンチリン。
ドアのベルが店内に響くと、
奥から女の人が静かにあらわれました。
「いらっしゃいませ。こちらは星の香りのお店です。
お客さまにぴったりの香りをお探ししますよ」
見回してみると、お店の棚には
たくさんのガラス瓶が並んでいました。



「そちらは彗星の香りです」
次に手にとったのは、
はなやかで少しピリッとした香りでした。
鼻の奥がツンと刺激されたとたん、
目の前に今度は長い尾の
彗星の姿があらわれました。
女の人は教えてくれます。
「広い宇宙を１人で旅する彗星は
冒険好きなんですよ」
ゆうかちゃんはその鮮やかな姿と香りに
なんだかワクワクしました。

なんと壮大な香りと景色でしょう。
とても複雑で、
でも不思議とバランスのとれた香りです。
「大きさも明るさもさまざまな星たちの集まり、
銀河の香りです」と女の人の声がします。
「年老いて爆発する星も、
そこから生まれる赤ちゃん星も、
大きな家族の一員です。
お客さまも、じつはそんな星のかけらから
できているんですよ」
無数の星たちに囲まれて、
ゆうかちゃんはとても心強い気持ちになりました。



帰り道、見上げると空には
北極星が光っていました。
「みんな　みんな、星たちの
かけらで出来てるんだ。」
お母さんもお父さんもこの町も、
学校の友だちも。
星たちの香りに元気をもらった
ゆうかちゃんは明日が楽しみになりました。

優秀作

『よるのおふろ』

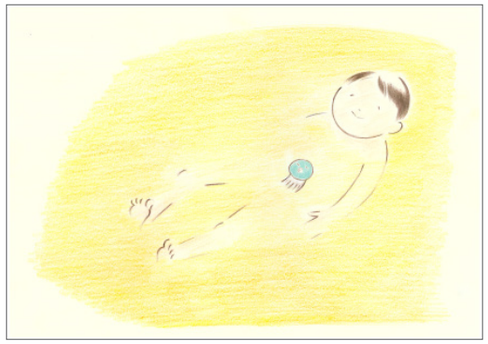
新谷 直子（東京都）

作品について

子どものころ電気を消して真っ暗なお風呂に入るのが好きでした。その経験からお話を考え、「ひとりの時間」から生まれる創造力と楽しみ方を描きました。

作者紹介

2023 年「イルフ童画館」、「小さな絵本美術館」を訪れた際、幼少期の夢を思い出し絵本作りを志す。2024 年 1 月に「星と森と絵本の家」を訪れ、ここで展示ができたらいいなという目標を抱き、『第 12 回（2025 年度）回廊ギャラリー展示絵本作品公募』に応募。この度、優秀作に選定していただき絵本作りの第一歩を踏み出すことができた。

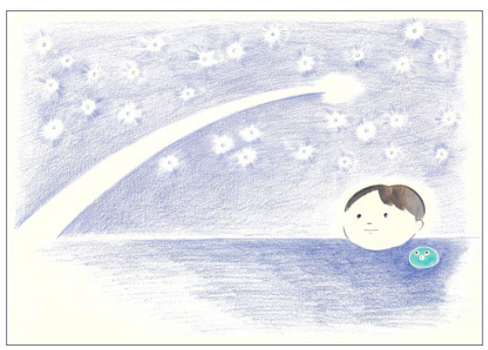


1

ざぶーん　ふー　きもちい〜

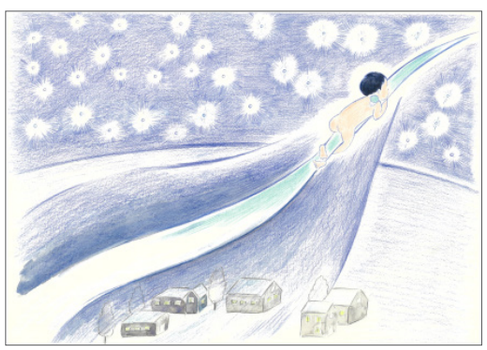
2

みみをすますと
むしの音　（リーン　リーン）
みずの音　（ポタ　ポタ　チャプン）
そとの音　はっぱカサカサ　かぜの音（さわさわ　かさかさ）



3

そしてなにより　まっくらな　おふろは
夜空の中にいるみたいで　好きなんだ



4

ぐん　ぐん　ぐん　ぐん　そらへ　そらへ
どん　どん　どん　どん　うえへ　うえへ
町が　小さく　なっていく

『ちびちゃいのおしゃべり＜てんたい＞』

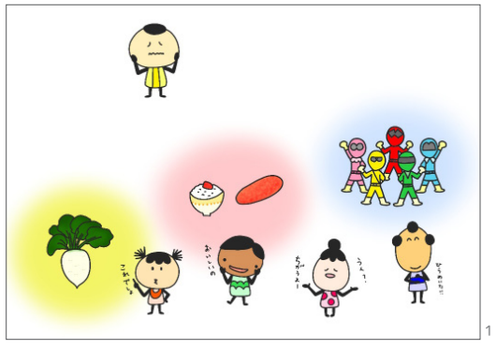
このはな れん（富山県）

作品について

とっても小さくて、おしゃべりが大好きな ” ちびちゃい ”。
天体って、おもしろい！ふしぎ！きれい！だけど、
ちょっとむずかしくてわからないことも…。
すきな気持ちを大事にする、
ちびちゃいたちのにぎやかなおしゃべりのお話です。

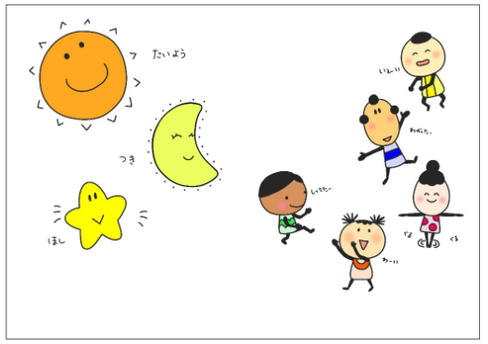
作者紹介

絵の好きな子どもが、そのまま大人に…。美術館にいくとワクワクします。自然に囲まれた環境のなか、季節のカードなどを作って絵を楽しんでいます。



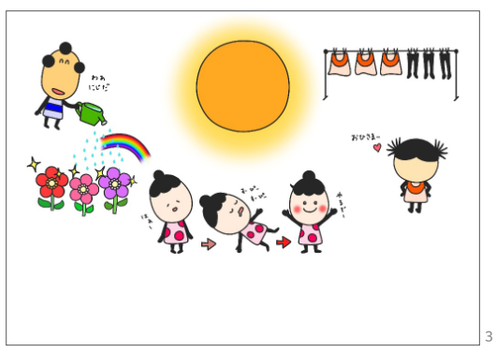
1

てんたいって　なに？　てんたいって　あれじゃないかな



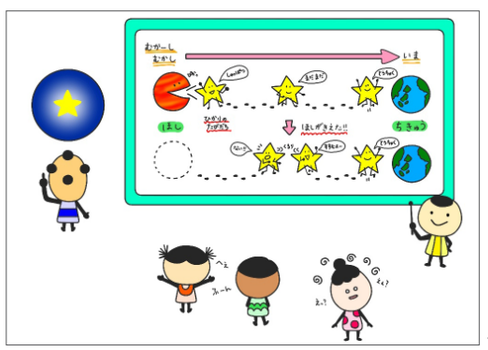
2

たいよう　しってる
つき　しってる　しってる
ほし　しってる　しってる　しってるよ



3

たいようのひがあたって　きらきら　ぽかぽか　おひさまパワー



4

あのほし、もうないかもしれないんだって！　どういうこと？

佳　作

『つきのねーねと ちきゅうのぼく』

かくさん（埼玉県）

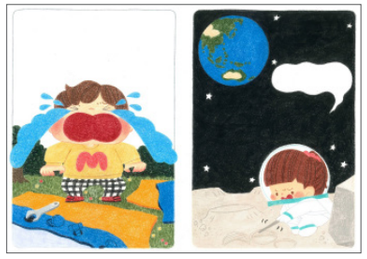
作品について

もっくんはお姉ちゃんのりーちゃんが大好き！いつもぴったりぎゅーっとくっついています。月と地球が「ぴったり」だと聞いた２人が探しに行く途中、ロケットが壊れて、りーちゃんは月に飛ばされてしまいました。
もっくんは迎えに行くロケットを一人で作りますが、寂しくて泣いてしまいます。そんな時、りーちゃんが「ぴったり」を見つけて…

作者紹介

福岡教育大学大学院卒業後、科学館で働いていました。今は絵本を描いたり宇宙がテーマのハンドメイド活動をしたりしています。

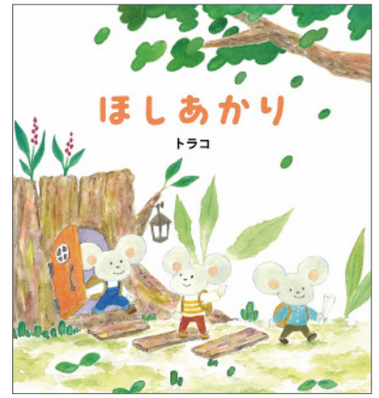
ぱーん！
ロケットは　ばらばらになり、
もっくんと　りーちゃんは
とばされてしまいました。



「…あ！」
りーちゃんは　じめんに
なにかを　かきはじめました。
「もっくん！　ぴったりを　みつけたよ！」

『ほしあかり』

トラコ（千葉県）



作品について

切り株の家で暮らす、ねずみ三兄弟のちゅう、みみ、うーた。
ある夜、家の明かり“ほしあかり”が消えてしまい真っ暗に。
ねずみ三兄弟は、“ほしあかり”を探すために森へ出かけていきます。

作者紹介

多摩美術大学卒業　グラフィックデザイナー
2023 年から、子供の頃からの夢だった絵本制作をはじめました。
第 40 回日産童話と絵本のグランプリ　絵本の部 佳作

やっとのことで、星降る丘“きのこがおか”に到着。

ほしつぶを集めて、“ほしあかり”を作ろう。

『雀と飴玉の月』

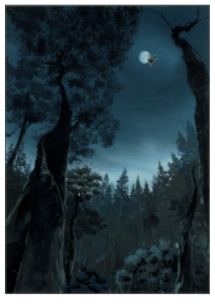
伊藤 祥吾（愛知県）

作品について

月を見て「飴玉みたいで美味しそうだな」と思った雀が、いつか月を食べることを夢見てひたむきに生きる話。

作者紹介

岐阜県出身
名古屋芸術大学 在学中



何度も何度も飛んで、それでも一度も口にすることはできませんでした。

あるのは精一杯生きた証の木の板だけです。

公募について

三鷹市星と森と絵本の家では、星や月などの「天体」や、広く「宇宙」をテーマにした未発表の絵本作品を公募し、受賞作品の原画展を行っています。

令和７年４月に募集した「第 12 回三鷹市星と森と絵本の家回廊ギャラリー展示絵本作品公募」では、個性あふれる 63 作品の応募があり、選考の結果、６作品が入賞しました。

展示スケジュール

『星のかおりにつつまれて』セキユキナ	2025年7月7日(月)～9月29日(月)
『よるのおふろ』新谷 直子	10月１日（水）～12月８日（月）
『ちびちゃいのおしゃべり<てんたい>』このはな れん	12月10日(水)～2026年２月16日(月)
『つきのねーねと ちきゅうのぼく』かくさん	２月18日（水）～３月30日（月）
『雀と飴玉の月』伊藤 祥吾	４月１日（水）～５月11日（月）
『ほしあかり』トラコ	５月13日（水）～６月22日（月）

選考委員

- 広松 由希子 氏（絵本家）
- 縣 秀彦 氏（国立天文台）
- 小谷 奈保子 氏（みたか・子どもと絵本プロジェクト連絡会代表）
- 梅澤 尚子 氏（おとな絵本ラウンジ代表）
- 三鷹市星と森と絵本の家 館長

三鷹市星と森と絵本の家
住 所：〒181-0015　三鷹市大沢２丁目21番３号　国立天文台内
電 話：0422-39-3401　ファックス：0422-39-3402
開館時間：午前10時～午後５時
閉館日：火曜日、年末年始、他にメンテナンス休館あり
アクセス：JR武蔵境駅、JR三鷹駅、京王線調布駅よりバスで15~20分
「天文台裏」または「天文台前」下車
URL：https://www.city.mitaka.lg.jp/ehon/